

下水道事業用地を活用した保育所整備事業

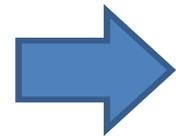
- 保育所の利用児童数が増加するなか、**保育所の確保が必要**。
- 下水道事業用地の一部**に保育所を整備し、本市の進める「待機児童ゼロ継続」の取組を推進。
- 就学前児童数が増加している地区**において、下水道事業用地の一部を活用し、**10年間限定で保育所を整備**することで、利用児童数を確保。



【中区の事例】 山下ポンプ場雨水滞水池上部（約1,170㎡）に保育所を整備（H26）

事業実施効果

区名	平成26年4月1日現在		
	就学前児童数(人)	入所児童数(人)	待機児童総数(人)
中区	6,575	1,696	0



	平成27年4月1日現在		
	就学前児童数(人)	入所児童数(人)	待機児童総数(人)
	6,605	1,881	0

市内全域では、待機児童数が20人（平成26年4月1日現在）
→8人（平成27年4月1日現在）